

にしむろアグリ情報



■県育成品種の導入推進

振興局では、試験場で開発した新品種の現地への普及に向け、関係機関と連携して様々な取り組みを行っています。その活動の一部を紹介します。

ウメ「橙高(とうこう)」

「南高」に偏った品種構成を改善し、梅干し用途以外の新たな需要拡大を目指すため、「橙高」の導入を推進しています。

☆「橙高」とは

- 本県内での栽培に限定
- 自家和合性
- 機能性成分（β-カロテン）が豊富



☆早期成園化による初期収量確保

若木から多収できる主幹形仕立の密植栽培の実証園を田辺市上芳養東山パイロットに設置し、研修会等を通じて当品種と栽培技術の導入を推進しています。



主幹形仕立の樹

☆新たな加工品開発

果実の特徴を活かした加工品開発に向け、ドレッシングやドライフルーツなど幅広い用途の試作をしています。

西牟婁振興局農林水産振興部農業水産振興課 〒646-8580 田辺市朝日ヶ丘 23-1

TEL : 0739-26-7941 (新品種、栽培技術など)

TEL : 0739-22-1443 (鳥獣害対策、農家民泊、養蜂など)

FAX : 0739-26-7945

URL : <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/130600/130651/dayori/index.html>

にしむろアグリ情報

※にしむろアグリ情報の内容に関するお問い合わせは、上記電話番号へお願いします。

イチゴ「まりひめ」

炭疽病による定植苗の不足を解消するための対策や、高品質生産の推進に取り組んでいます。

☆「まりひめ」とは

- ・本県内での栽培に限定
- ・甘くて、果実が大きく、果肉も赤い
- ・西牟婁で92a栽培



☆定植苗の炭疽病対策

今ある育苗施設と稲の育苗箱を利用した、底面給水育苗方法を推進しています。この方法なら、簡易で低コストでありながら、炭疽病の抑制に高い効果があります。



底面給水育苗

☆高品質生産対策

西牟婁管内では県いちご生産組合連合会のうち2名（県内23名）が、今年産から味と大きさにこだわったまりひめプレミアム「まりひめさま毬姫様」の出荷に取り組んでいます。

12月～2月の限定出荷とし、一粒あたり35g以上という大粒で完熟した果実を厳選して収穫します。



まりひめプレミアム「毬姫様」

■鳥獣害対策について

野生鳥獣による農作物の被害は、西牟婁管内で平成27年度に49,039千円（前年対比110%）となっております。

こうした中、被害軽減に向けた新たな取り組みも始めています。その一例を紹介します。

☆ICT捕獲わなによる有害鳥獣の捕獲

平成26年度からセンサーやデータ通信を活用した大型捕獲檻を、県が設置を希望する地区に貸し出し、現地実証を行っています。



西牟婁管内設置箇所 H28.12月現在

| 設置箇所 | 設置期間 |
|-----------|--------------|
| 田辺市龍神地区 | H28.6～H29.3 |
| 田辺市秋津川地区 | H27.11～H29.3 |
| 田辺市本宮地区 | H28.8～H29.3 |
| 田辺市中芳養地区 | H28.9～H29.3 |
| 白浜町玉伝地区 | H27.5～H29.3 |
| すさみ町太間地地区 | H28.12～H29.3 |

☆夜間銃猟によるニホンジカ捕獲

県では警察、市町、関係者等と協議しながら、平成27年度から夜間の銃猟によるニホンジカの捕獲に取り組んでいます。

西牟婁管内では、平成27年度に2カ所（田辺市、すさみ町）、平成28年度には3カ所（田辺市）で実施しています。

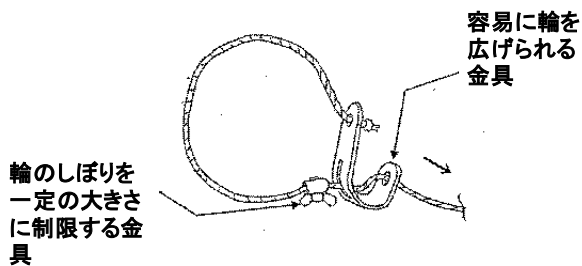


○毎年、**違法わなの設置や違反猟法**が見受けられます。

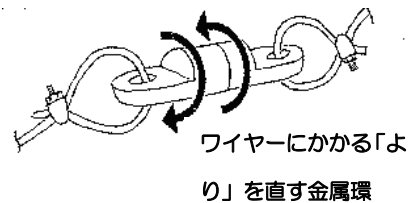
有害鳥獣捕獲にあたっては以下に注意してください。

- ・同時に**31以上のわな**を使用しないこと。
- ・**締め付け防止金具**・**よりもどし**が装着されていないもの又は**ワイヤーの直径が4mm未満**のくくりわなは使用しないこと。

（締め付け防止金具）



（よりもどし）



- ・県ではイノシシ・ニホンジカ捕獲に関して、ツキノワグマの生息域を除く地域でくくりわなの輪の直径に係る事項（12cm以下）を解除しています。ただし、**注意看板は必ず設置**（縦40cm×横30cm程度の目立つもの）しなければなりません。

（注意看板の例）



○猟犬の取り扱いについて

- ・人に危害を加えないように、猟犬の訓練を徹底し適切な管理に努めてください。
- ・猟場付近に住宅や一般道路がある場合は、猟犬にリードを付け、猟犬管理者の手元から離さないでください。
- ・迷い犬は回収し、山野に置き去りにしないでください。
（住所、氏名、電話番号を明記した首輪を着用）
- ・飼い犬は「お住まいの市町での登録及び年1回の狂犬病予防注射」が必要です。

■地域の魅力を発信

最近、地域の自然や文化、農山漁村の生活を身近に体験できるグリーンツーリズムへの関心が高まっており、農家の方から振興局への問合せも増えてきています。そこで、交流活動に取り組まれている方の声をご紹介します。

【白浜町市鹿野 小山さんご夫妻】



小山さんは、(一社)南紀州交流公社の会員として平成21年から民泊を始め、今年で9年目。修学旅行などの教育旅行で訪れる小中高校生が宿泊しています。

南紀州交流公社(白浜町)では、日置川地域を中心とした自然環境と農林漁業の生業を活かし、農林水産業のありのままを体験する「ほんまもん体験」の受け入れを行っています。

【民泊を始めて良かったこと】

いろいろな子供達と出会えて、元気がもらえることです。また、受け入れ農家同士の交流も生まれ、民泊を通して大勢の方と知り合うことができました。

【受け入れのポイント】

孫と同じように下の名前と呼ぶなど、「家族」として接しています。それから食事は地元にあるもので作ることに。

【これから始めてみたい人へのメッセージ】

子供達が来てくれるのは張り合いがあり、とにかく元気をもらえます。「今度はどんな子が来るのかな?」と。そして、帰るときの笑顔を見ると、また続けていこうという気持ちになるんですよ。



記念写真を集めたアルバムは宝物

～主な体験メニュー～

加工体験：こんにゃく、お寿司、らっきょう漬け
農業体験：収穫、せん定、選果(梅、ゆず、さつまいも、山椒など)



さつまいも掘り体験



こんにゃくづくり



クワで耕す

県では、農林漁業体験ができる農家民泊(林家・漁家含む)を始めてみようという方々を応援するため、農家民泊施設を認定する制度を設けています。

この認定を受けると、旅館営業許可及び飲食店営業許可を受けるにあたり許可基準の一部が緩和されます(※規制緩和の内容は保健所まで)。

■農産物の「販路を開拓したい」「販売促進したい」とお考えの皆様へ

県では、生産者の「売れるモノづくり」を支援するため、営業力・品質管理力・商品開発力の向上を目指した「生産者支援セミナー」を実施しています。そのうちの一つを紹介します。

☆「商談会成約アップコース」

- ・受講料は無料です。
- ・商談会シートを作成しながら、商品の魅力の伝え方・取引先ニーズの聞き出し方等、コミュニケーション力を学びます。
- ・商談会・展示会への出展に関心がある方に、事前準備の機会として最適です。

スケジュールイメージ

| | |
|-----|------------------------------|
| 6月 | 受講者募集 |
| 7月 | ① 基礎講座「農産物のための商談会シートの作り方とは？」 |
| 8月 | ② 商談会シート作成 |
| 11月 | ③ 講義「百貨店バイヤーの欲しい情報とは？」 |
| 1月 | ④ 商談会の疑似体験 |

商談会に向けてステップアップ



商談会シートには商品のアピールポイントや製造工程を記入。作成したシートは各種商談会で使えるので便利！

学んだことを各種商談会※で実践！

- ・わかやま産品商談会 in 大阪
- ・スーパーマーケットトレードショー
- ・FOODEX JAPAN など・・・

※出展には別途申し込みが必要



他にも各種商談会のご案内、バイヤー招へいなど様々な販路開拓支援を行っています。

■農地を貸したい方・借りたい方を募集

県農業公社が、リタイアする農家等から農地を借り受け、規模拡大農家や新規就農者等へ農地の貸付を実施しています（農地中間管理事業）。

詳しくは、お近くの JA 各支所、市町、振興局の担当窓口まで。

■「みなべ・田辺の梅システム」が世界農業遺産に認定(平成 27 年 12 月)

旧田辺市、みなべ町地域の「養分に乏しい礫質斜面を利用した持続的な梅生産システム」が、国際連合食糧農業機関（FAO）から世界農業遺産として認定されました。

これを機に、梅の販売促進や国内外からの観光客誘致等、地域の活性化につなげる取組を関係機関とともに進めています。

受賞者の紹介

■船本 幸雄 氏 大日本農会 平成 28 年度（第 100 回）

農事功績表彰 緑白綬有功章受章



中晩柑類やうめの栽培を地域でいち早く導入し、温州みかん主体の経営から複合経営に切り替え、効率的な労働配分やリスク分散による収益性の向上と経営の安定化を図られました。また、地域内の複数の農地造成事業にも尽力されました。

■山下 繁一 氏 平成 28 年度 和歌山県 農林水産業賞受賞



梅へのケシキスイ類の混入防止対策である「水浸漬」施設を地域でいち早く整備する等、安心・安全な梅干の提供に率先して取り組まれるとともに、農業後継者の育成や梅の価格安定対策等、地域農業の振興に貢献されました。

■上富田町生活研究グループ連絡協議会 平成 28 年度 和歌山県 農林水産業賞受賞



地元の子供たちに郷土料理を教える活動や、農業後継者に対する農産加工品等の加工指導を通じて、地産地消・食文化の伝承活動に積極的に取り組みました。また、河川敷の環境美化活動をはじめとする地域の活性化にも貢献されました。

■みそ工房ひきがわ 平成 27 年度 和歌山県 女性・高齢者グループ表彰

農林水産部長賞受賞



平成 20 年に 3 名で日置川産の「米」にこだわった味噌加工を始められ、学校給食への納入や、学校や団体の「味噌づくり体験」の受け入れを積極的に行う等、地域の活性化に大きく寄与されました。